

令和5年1月号

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

令和5年1月1日(第213号)

## ～園芸日誌～

今年もベンチの近くのモミの木に、クリスマスツリーの装飾をしました。(12月5日～26日)

学生さんなのか道行く人なのか、少しずつ飾りを増やしてくれました。

まるでクリスマスプレゼントのようで気持ちが温くなりました。

12月最後の収穫は、初めて挑戦して育てたブロッコリーでした。



## 12月7日 たいよう号バス旅行

千葉大学実習生に加えて地域の方(3名)も参加してくださいました。

浅草寺の境内で記念写真を撮り、周辺散策やスカイツリー観光等、4組に分かれて行動しました。

そのうち1組は、屋台の牛すじ煮込みとビールを堪能したそうです(お蕎麦も食べました)。

別の組は、スカイツリーの展望台にのぼり景色を見渡したり、クリスマスツリーを見つけたりしました。

「お天気も良くとても楽しかったです。早野さんも喜んでおりました。久しぶりのバス旅行快適でした。感謝申し上げます。」(元ぎやまん亭の奥様)



## 12月7日 千葉家連主催の「心の美術展」が開かれました。

今日はお天気で太陽号の旅行日和でしたね。本日、千葉家連で作品の展示会と表彰式を行いました。

糸日谷敬一さんの『曲の翼に情熱を』の作品が特別賞に、黒川和朗さんの『疾病を退けるカルラ』が奨励賞に入賞しました。それぞれ金一封が授与されました。二人とも作品を取りにいらっしやいました。黒川さんは表彰式の終了後にいらしたので、理事の皆さんで個別にお渡ししました。糸日谷さんは黒川さんの個性的な色彩を大変評価されていました。(千葉家連理事の半澤さんより)

## 12月8日 千葉市ソフトバレーボール大会



6人全員で3試合を闘い抜きました。

交代要員なしというプレッシャーに負けなかったのが、3戦全敗でしたが、この達成感は忘れないものになったと思います。

(尾畑清美、小柳津重幸、加瀬智之、澁谷英之、中村一博、中村奈緒)

大会の合い間に食べた「菜穂子(なほこ)」さんのハンバーグ弁当は格別に美味しくて励まされました。



### Q 来年はどんな年にしたいですか？

- ・少しずつ病気が良くなっているので、さらに良くなればと思っています(白井)
- ・どん底の今より上がりたい(飯柴 葉)
- ・自由に飲みにいきたい(飛弾)
- ・現状維持です(金澤)
- ・現状維持とプラスアルファ彼女との関係の進展です  
(お互いに謝りあえる関係にしていきたいよね)(加藤)
- ・体重以外の現状維持(平鹿)
- ・語学と占いの勉強に精進します(澁谷)

## 川柳

障がいはけやきにいれば仲間の輪（大嵩）

囲碁将棋やるときやよかったこれまでに（千遥）

みなさんとたのしく学べた4日間（詩織）

バレーして心とからだをリフレッシュ（紗江）

次こそは勝ってみせます先攻で（里音）

秋晴れや空まで届くぞスカイツリー（萌音）

澁谷さんからのお知らせ

西千葉アトリエぴりーぷ 内  
ワークショップの企画で「けやき太郎」と  
しての占いを行うことになりました。  
よろしくお願ひします。

1月28日（土）11：00～14：00

2月25日（土）11：00～14：00

（中央区松波 2-4-21 ベルフォンテーヌ 1F）